

夢を未来へ伝えよう



平成30年7月豪雨災害

長く続いた大雨により、広島県内各所をはじめ岡山県、愛媛県など全国的にも甚大な被害となりました。

この度の災害により、お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈りするとともに、被災された皆さまには謹んでお見舞い申し上げます。

広島市内では市災害ボランティア本部、そして、東区・南区・安佐北区・安芸区の4区で災害ボランティアセンターが立ち上がりました。

利用連登録団体でも、それぞれの団体や個人でできるボランティア活動をされたり、学習会をされたり、また、県内外からも多くのボランティアさんが広島の支援のために駆けつけてくださいました。広島市内では10月末日現在で30,000名以上のボランティアさんが活動されています。

ボランティアは土砂かきだけではありません。いろいろな支援の形があります。利用連幹事会でも利用連として何かできることはないかと考え、災害ボランティア活動をされる方々を支援するための「ボランティア支援金」を募り、10月末日現在で10団体から130,000円のご協力がありました。集まった支援金は、災害ボランティアセンターから被災地へボランティアさんを運ぶ際に使用したバス運輸費や飲料費等として有効に使われるとのことでした。

年々身近になっている自然災害。災害が起こる前に何を準備しておくか、起こった後はどうするか、そして自分たちに何ができるのか。今一度それぞれに考える必要があるのではないのでしょうか。



平成30年度 利用連学習会のご案内

日時:平成31年3月16日(土)

10時~15時(予定)

場所:広島市総合福祉センター
5階ホール

★防災や災害の基本知識を学ぶことをテーマに現在内容を検討中です。

是非ご参加ください!

～楽しい広場づくり～団体繁栄の方法

平成 30 年 3 月 17 日(土) 11:00～14:30 (広島市総合福祉センター5 階ホール) 18 団体 42 名参加
『パネルディスカッション』は、渡部 朋子氏 (ANT-Hiroshima 理事長) をコーディネーターとして、
3 団体のパネラーが活動における工夫やヒントを発表されました

繁政氏 (すみれ会)・幅野氏 (すべての障害児に豊かな教育を実現させる会)・井上氏 (ばれっと倶楽部)
それを踏まえ、6 グループに分かれて、2 つのテーマで『グループワーク』を行いました

① 会の良いところを知ってもらうためには？

- ・会の活動を、文書、写真、動画等で残しましょう
- ・自分たちの会の「楽しさや充実感を自慢できるように」まとめましょう
- ・会報を発行しましょう
- ・ホームページで上手に掲載しましょう
- ・会の紹介の「パンフレット」や「パネル」を作ってみましょう
- ・テレビ・マスコミを利用し、発信しましょう
- ・若い世代が興味・関心を持てるような情報発信ツールやネタを持っておきましょう
- ・広島市社協の利用連を大いに活用しましょう

② もっともっと会を楽しくするためには？

- ・会議はできるだけ、顔を合わせる円卓形式にしましょう
- ・高齢者いきいき活動ポイントを活用して会員を増やしましょう
- ・新しい会員にも出番、活動があるよう配慮しましょう
- ・食事会、親睦会、リクレーション等の楽しいイベントを増やしましょう
- ・「楽しかった」「ありがとう」等の感謝表現を増やし合いましょう
- ・「楽しくないと続かない事」をしっかりと認識しましょう
- ・新しい企画が出てきやすいような雰囲気を作りましょう
- ・作業が大きい場合は、小分けして、小集団に分けてみましょう

終了後のアンケートの声

- ・ボランティア活動の大切さがわかった
- ・人の役に立って喜ばれることがモチベーションになる
- ・他のグループ、異グループの活動を知ることができた
会員以外の活動、協力が活性化につながる
- ・学んだことを自分のグループにも取り入れていきたい

学習会で心に残ったキーワード
一に元気！ 二に現金！
グループの楽しさ、充実感！
やりたいことができる会
できるときにできることをする
～アンケートより～



■ 2018年5月24日（木）に、広島市総合福祉センターで利用連総会を開催しました
32団体・34名の出席者で、朝津武代表幹事が選出されました

- 代表 朝津 武（勇気と希望で仲間をつくる会）
- 副代表 南家 孝之（全障研広島サークル）
井上 容子（広島肢体障害者の会）
- 幹事 臼井 利明（VIC）
田中 聡（ほのぼの広島会）
小松 清志（ボランティア鯉城の会）
浜崎 ツヤコ（ボランティア健福17）
清水 梨華子（安田ボランティア部）
森川 公美子（安田ボランティア部）
- 会計 井上 敢（ぱれっと倶楽部）
- 会計監査 広島ハーネスの会

- ・現在、ロッカー等の利用規程と利用連会則の見直しを行っています
- ・ロッカーの空き状況は大2、小3の計5個です

ご存知ですか？
このマーク



皆さんは、「ヘルプマーク」をご存じでしょうか？「ヘルプマーク」とは、義足や人工関節を使用している方、内部障害、難病や妊娠初期の方など、外見からは分からなくても配慮や援助を必要としている方々が、周囲の方にそれをお伝えすることで、（周りの方からの）配慮を得やすくするためのマークのことです。

また、障害のある方が災害や緊急時や日常生活で困ったときなどに、緊急連絡先や必要とする支援内容などを記載する名刺大・折りたたみ式の「ヘルプカード」もあります。

外見では健康に見えても、疲れやすかったり、つり革につかまり続けるなどの同じ姿勢を保つことが困難な方がいらっしゃいます。外見からは分からないため、優先席に座っていると不審な目で見られ、ストレスを受けることがあります。

公共交通機関の事故等、突発的な出来事に対して臨機応変に対応することが困難な方や、立ち上がる、歩く、階段の昇降などの動作が困難な方がいらっしゃいます。障害などにより、状況把握が難しい方、自力での迅速な避難が困難な方がいらっしゃいます。

ご希望の方には無料で配布されており、ご家族や代理人の方の受け取りや、郵送での配布も可能です。皆さんも、ヘルプマークを見かけたら、ご配慮をお願いします。

[配布窓口]広島県 健康福祉局 障害者支援課、県内各市町の障害福祉担当課、出張所など。

広島難病団体連絡協議会の所属団体には、外見では分からない病気や障害を持つ方が大勢居られます。その為ヘルプマークの配布を県に何度もお願いしていました。はじめ有料で配布されるとのことでしたから他県の様子など訴え、無料での配布が決まり本当に良かったです。

心臓病の子供を守る会 広島県支部 太田和子

～利用連登録団体紹介～

ほのぼのの広島会



『ほのぼのの広島会』は平成9年11月に5名で発足し現在は40名で活動しています。公共施設のバリアフリーチェックから始まり、障がい者とのバス旅行、障がい者用のトイレマップなど10項目以上の楽しいボランティア活動を継続しています。会の特徴は『無理なく楽しくボランティア』です。特に『楽しく』に重点を置いています。楽しくなくては人が集まりません。楽しくなくては継続できません。しんどい活動でも楽しくなるように工夫すれば大丈夫です。知恵の出し合いが更に楽しさを倍増させます。最近始まった面白い活動では『障がい者とのバリアフリー潮干狩り』があり創意工夫に満ちた装具を作りました。お気軽に例会を覗いてください（毎月第二土曜日 17:30～中区地域福祉センター5階）。

事務局：田中聡 090-3270-2959、入会案内：赤崎帯子 090-1013-4622

利用連新規 加入団体

○こいこい食堂

市社協登録個人ボランティアのつどい「ぶりっち」で立ち上がった団体で、次の活動をされています。

- ・こどもの居場所として家でも学校でもなく、第3のぬくもりのある場づくり
- ・みんなで和やかに「わいわいがやがや」と温かい食事がいただける場の提供
- ・地域でつながり合い、ネットワーク力を高め共同活動としての場づくり
- ・類似の活動を行っている団体との交流

○みんなの寺子屋

平成25年7月に設立されたグループで次の活動をされています。

- ・子育て支援、子どもの遊び出前サービス ・ボランティア育成
- ・平和教育、文化交流
- ・様々な文化等の対話と交流の計画、推進

○ボランティア・コミュニティ まんてん

シニアのボランティア有志で構成されたグループで、いろいろなボランティア活動に参加されています。

- ・シニアボランティアの推進
- ・シニアの社会参加、地域における活動を広げる



広島市社会福祉協議会 広島市ボランティア情報センター利用者連絡会

〒732-0822 広島市南区松原町5番1号 広島市総合福祉センター6F
TEL 082-264-6408 FAX 082-264-6416
E-mail voinfo@shakyohirosima-city.or.jp